

## お礼の言葉

本日は当教会布教満八十年記念祭に、同門の先生方を始め、ご縁深い諸先生のご参列とご参拝を頂きまして真に有難うございます。

又隣接教会のご信者の方々、教縁を大切になさってご遠路ご参拝頂きました皆様、本当に有難うございます。

八十年と申しますと、世の中では傘寿のお祝いを行う、よろこびの年に当たります。当教会に於きましても、よくぞここまで布教継続のおかげを頂いて、今日を迎えさせて頂けたという、よろこびと感謝の思いで一杯でございます。

ひとえに、歴代教主様の日夜に亘る御取次のおかげ、函館教会歴代教会長先生の御取次のおかげは申すまでもなく、当教会の上をお祈り添え下さりお力添え下さる、幽明界いを越えて多くの方々のお働きと思い、厚く御礼申し上げます。真に有難うございます。

当教会在籍信奉者の皆さんには、初代教会長亡き後を、至らぬ私が受け継がして頂きましたが、教会長とたてて頂き、共に初代教会長の信心を元に、このお道の真の信心を求め、助かりのおかげを頂いての今日であります。

一昨年末、初代教会長の願われた広前に、改修させて頂くに伴い、万事にご神護ご都合おくり合せを頂きまして、会合用広間と教職舎改築成就のみかげを蒙り、又、考えもしない教会北側のお土地を神様からお借りしまして、駐車場完備のおかげを頂くなど、どのようにお礼を申し上げたらよいのかと思案いたしましても、その言葉に往きつくことが出来ぬほどでございます。

この大御働きに応え奉る道は何かと、考えます時、「信心しておかげ受けよ」との御教えを心に深く頂き、これからも信心をさせて頂いて、めいめいが助かりのおかげを頂き、そのよろこびと有難さを、一人でも多くの人に伝え共に助かる生き方にならせて頂くことと心得ます。

身近かなところから、子孫に続く信心の継承とご用の継承を願って、これからも広前を信心のけいこ場所として、ご神願成就のお役に立つ人にならせて頂きましょう。本日は共に有難いことでございます。

平成十九年十月七日

金光教亀田教会長

高村 恵美子